




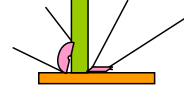



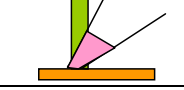
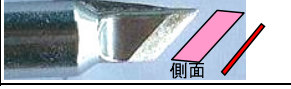
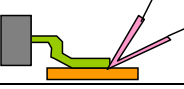
こて先のバリエーションが豊富にあるのには、やはり理由があるのです！

作業内容にあったこて先形状を選ぶことは作業効率を上げるための**近道**です。

ここでは、一般的なこて先形状をご紹介します。

どんな用途で使用されているのか？どんな形状があるのか？

作業にあったこて先形状を見つけてください。

タイプ/濡れ面	濡れ面(側面、先端)	使用方法	用途
B形/ 円錐先端		 こて先の先端、または側面を対象物に当てる。先端が酸化し半田が濡れ難いので注意が必要	先端部は供給熱量が少ないので、狭い場所に限定される。側面は熱供給が大きいので線材などの対象物に適用可能。
C形/ 45度カットしたC面		 濡れ部の先端カット面を密接に、又は多めの予備はんだを介して間接的に対象物に当てる。	供給熱量が大きく、はんだの切れも良いので表面実装、挿入実装どちらにも使える。ICチップの引きはんだにも有効
D形/ 先端の平面 および側面		 平面又は側面を密接に対象物に当てる。または多めの予備半田を介して間接的に当てる。	表面実装、挿入実装どちらにも使える。平面の面および先端の幅と側面の面および先端の厚みを使いこなせば色々な作業に適用可能
BC・CR形/ 円錐先端 およびC面		 円錐の側面とC面の両方を、対象物の2箇所に同時に当てる。	B形、C形、D形の性質を兼ね備えて、多種類のはんだ付けに対応できる。但し、濡れ面積が大きく、はんだ供給量を多くする必要あり。
KF形/ 刃に沿って 両面		 ナイフの刃の部分を対象物に密接に当てる。又先端の尖りや側面の平坦な部分も活用する。	SOPやQFPなどのリードの沢山有る部品の、引きはんだやブリッジの除去に有効である。先端は、極小チップのはんだ付けにも有効